

Series Plan ** なぜ? なに? やま・もり

**なぜ
なに
やま
もり
山や森についてもっと知ろう!**

木はなぜ植える必要があるの?

木は、米や野菜と同じように収穫されて、家の柱や壁、薪などの燃料として利用されています。しかし、森は、人の手で植えられてきた木が収穫された後、再び植えられなければ伐る前と同じ姿には戻りません。いずれ、木は生えますが、長い時間がかかります。また、森は大雨が降っても山崩れや洪水をおきにくくするなどの大きな恵みを与えてくれますが、伐った後に伐る前と同じ恵みが得られるとは限りません。

そのため、木を伐ったら木を植えて山を再生させる必要があります！

木を植えない
木を植えると
山から
の
惠み
少
大

山から
の
惠み
少
大

山の再生 遅

山の再生 早

木を植えると50~60年後再び収穫することができ、未来の子供たちへの贈り物になります。

「木を植えて、育て、使って、また植える」この循環を守ることで、森は、私たちに多くの恵みを与えてくれます。
私たちの身边にある森林に、あらためて目を向けてみませんか。

※山形県では「やまがた緑環境税」を活用して、手入れの遅れた森林を整備しています。

企業だって 森づくり♪

「しんきん結(ゆい)の森・ぐるっと花笠の森【新庄】」新庄信用金庫 編

新庄信用金庫(新庄市)は、NPO法人バイオマスもがみの会、山形銀行、県、柴草山管理組合、新庄市の六者間で「やまがた絆の森(しんきん結(ゆい)の森・ぐるっと花笠の森【新庄】)」として協定を締結し、平成二十二年度より「やまがた絆の森づくり」として、森づくりによる二酸化炭素削減の推進、地域活性化などを目的に活動しております。

この活動で私どもは、地域住民、企業が気軽に森づくりを行い、活動成果を実感できる仕組みを構築するために共にコンソーシアムを形成し、次のような活動をこれまで行ってまいりました。

(担当 総企画室 廉長代理 高橋 寛典)

ここまで行った様々な活動



「最上エコポリスの先生による森の宝さがし」



参加者の声

サッカークラブABCセーレさんとの森づくり活動も8年目に入りました

ABCゼーは、小学校一年生から中学校三年生までのサッカークラブで、普段の活動は小学生のジュニアと中学生のジュニアコースに分かれています。同じ会場で練習をする事は時々あります。その内容は小・中で独立している場合が多く、森づくりの活動のように全員が同じ体験をすることは滅多にありません。こうした貴重な機会を通して小・中学生が交流することで、チームの体感が高まっています。

JFA日本サッカー協会)が展開している社会貢献活動には、環境プロジェクト、地球温暖化防止、国民運動という活動も含まれていて、「地域で取り組む温暖化防止活動に参加しようと二酸化炭素削減に向けた六つのチャレンジ」に呼応する活動として、新庄信用金庫さんの御指導により参加させていただいているります。

最近は、森に入る機会もめっきり少なくなつた子供達が、下草刈りの現場や木の実拾いなど、長靴を履いて実際に森に入つて経験したことは、コンピューターの世界に生きる子供達にとって、新鮮で心癒される一日であったのではないかと思っています。



「森の材料で木工体験」
「木チップ遊歩道整備」
★やまがた絆の森づくり推進事業★
企業などと森林所有者と県との三者協定による森づくり活動。平成30年2月現在、38企業・団体、33箇所で活動を展開中。

読者
プレゼント

抽選で新庄信用金庫から提供の「新庄まつり絵皿」5名様
「新庄まつり湯呑」10名様にプレゼント。
詳しくはP.11をご覧ください。

一概要

新庄信用金庫(新庄市)は、NPO法人バイオマスもがみの会、山形銀行、県、柴草山管理組合、新庄市の六者間で「やまがた絆の森(しんきん結(ゆい)の森・ぐるっと花笠の森【新庄】)」として協定を締結し、平成二十二年度より「やまがた絆の森づくり」として、森づくりによる二酸化炭素削減の推進、地域活性化などを目的に活動しております。

ムスティによるやまがた絆の森PR活動、森のオリエンテーリング大会、未来へのエコカード作成、ネイチャーゲーム体験、第三十八回全国育樹祭への参加、森の恵み感謝祭

指先を一生懸命動かして作業をしました。中学生の斬新な繪付けには、現代づ子の自由な発想が見られ、こうした発想がサッカーに反映されれば、面白い選手が育つのかもしれません」という発見もありました。

今後の抱負取り組みについてお聞かせ下さい

昼食に準備していた芋の子汁を美味しく食べながら子供達がこうした活動を通して、森の大切さや地球のかけがえの無さを感じたら、また将来そうした分野で活躍してくれる人材に育つべからずと思ひながら、感謝深い一日を過ごすことができました。

新庄信用金庫の皆さんには大変お世話になりました。また機会があれば微力ながらお手伝いさせていただきたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

(ABCゼー 副代表 井関 和夫)

意味なく食べながら子供達がこうした活動を通して、森の大切さや地球のかけがえの無さを感じたら、また将来そうした分野で活躍してくれる人材に育つべからずと思ひながら、感謝深い一日を過ごすことができました。新庄信用金庫の皆さんには大変お世話になりました。また機会があれば微力ながらお手伝いさせていただきたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。